

第5回

UD まちづくり講座の検討2

(1) プログラム

日 時 | 9月14日(土) 13:30 ~ 16:30

会 場 | 深川高校1階 大会議室

内 容 | UD まちづくり講座のプログラムをつくろう

- ・第4回で出し合った意見を元に作成したプログラム案を検討し、その後自分が担当するプログラム別に分かれて、詳細のアイデア出しを行い、次回の講座実践の流れを確認した。

タイムテーブル |

- 13:30 (5分) あいさつ
- 13:35 (10分) 今年度の目的、本日の進め方、前回の振り返り
- 13:45 (30分) UD まちづくり講座案の説明
- 14:15 (30分) **【意見交換】**
 - ・UD まちづくり講座全体構成の意見交換
 - ・当日参加できる人の確認
- 14:45 (10分) グループ再編成
- 14:55 (10分) ~ 休憩 ~
- 15:05 (35分) **【グループワーク】**
 - ・担当パートについて詳細検討
- 15:40 (40分) **【全体で流れを確認】**
- 16:20 (10分) まとめ、事務連絡、アンケート記入
- 16:00 終了

(2) UD まちづくり講座の前提と構成案

1 実施概要

実施 | 深川高校の授業時間 50 分 深川高校 2 年生 1 クラス (40 人)

2 伝える内容

テーマ | 合理的配慮を理解し、

ユニバーサルデザインまちづくりとつながっていることを伝える

3 大事にしたいこと

- ・ 楽しい、感じるプログラム
- ・ 高校生とのコミュニケーションの時間をつくる

4 UD まちづくり講座 構成案

- ・ あいさつ (1 分)
- ・ アイスブレイク (2 分 + 6 分 = 8 分)
 - 1) 視覚障害者が問いかけて、声を出してもらうことに気づく。
 - 2) 聴覚障害者とのコミュニケーションは、ジェスチャーも有効。6 つのグループ分けをする。
- ・ 合理的配慮の説明 (3 分)
- ・ 寸劇 1,2 (6 分)
 - 寸劇 1) ドラッグストアで。車いす使用者と高校生店員 (3 分)
 - 寸劇 2) ドラッグストアで。視覚障害者と高校生店員 (3 分)
- ・ 合理的配慮クイズ 1 (3 分)
- ・ 寸劇 3 (14 分)
 - 寸劇 3) ドラッグストアで。聴覚障害者と外国人店員 (14 分)
- ・ 合理的配慮クイズ 2 (3 分)
- ・ 寸劇 4 (2 分)
- ・ グループで感想 (10 分)

(3) 合理的配慮の考え方

合理的配慮について、今回も整理して理解を深めました。

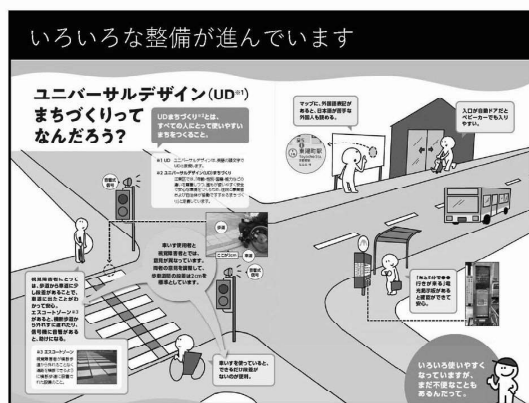
まちの整備は進んでいるが、それでもまだ使えない人います。

まちに出て何かをしたいのは、みんな同じです。

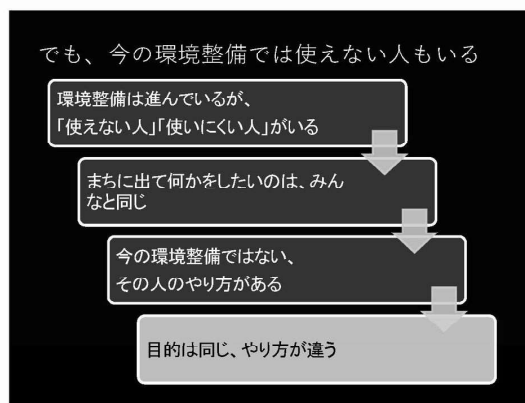
→「目的は同じ、やり方が違う」のです。

みんなが使えるかどうかを考え、事前に環境整備をしても、使えない人がいた時に、建設的対話の元に使えるように考えることが「合理的配慮」です。

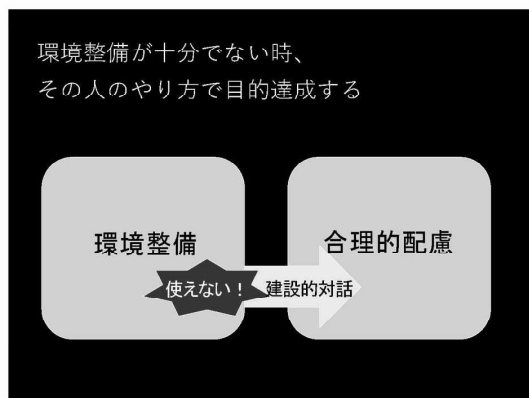
合理的配慮を行う際は、本人からの意思表示、建設的対話を行うことが大切です。



3



4



5



6

(4) UD まちづくり講座 シナリオ案

これまでのワークショップで出た意見から作成したシナリオ案は下記のとおりである。

司会 (1分)

=====

全体の司会 1人

全体のタイムキーパー 1人

=====

- 今日は、江東区ユニバーサルデザインワークショップに参加しているメンバーが、UDまちづくり講座を行います。深川高校国際協力ボランティア部の部員もワークショップに参加して一緒に考えたプログラムです。では、さっそくはじめます。

アイスブレイク1 (2分)

=====

視覚障害者 1人

誘導する人 1人

=====

視覚障害者 | みなさん、こんにちは。

高 校 生 | こんにちは！

視覚障害者 | まず最初に、簡単な質問をします。今日、学校までに来た通学手段を教えてください。自転車か、バスか、電車か、徒歩か、その他の手段か。

自転車できた人、いますか？

もしかして手をあげていますか？ 私は目が見えないので声もだしてください。

もう一度聞きます。自転車で通学している人は？

電車は？ バスは？ 徒歩は？ その他は？

これからのプログラムの中でも、声も出してくださいね。声を出してもらえると私にもみなさんの様子が伝わります。

アイスブレイク2 (6分)

=====

聴覚障害者 1人

進行 1人

カードを配布する人 6人 (6種類を各1+アルファ=40人)

=====

進 行 | 続いてグループ分けをします。声を出さずに同じグループの人を探してください。声を出さないコミュニケーションの方法を伝えます。

聴覚障害者 | 「口型」「ジェスチャー」「そら書き」など

進 行 | 6つの一言カードを見えないようにして配ります（「おはよう」「こんにちは」「さようなら」「元気？」「がんばろう！」「ありがとう」。声を出さずにカードの内容を表現して、同じカードの人で集まります。

6～7人集まったらスタッフに教えてください。答え合わせをしてテーブルに案内します。

検討事項

質問項目は、交通手段でいいか？他に良い項目はあるか？

カードの内容は何かがいいか？

合理的配慮の話 (5分)

=====

説明 1人

=====

- ・今日はみなさんと一緒に「合理的配慮」からユニバーサルデザインまちづくりを考えたいと思います。
- ・「ユニバーサルデザインまちづくり」では、だれもが使いやすいまちを、みんなで考えてつくっていくことを目指しています。
- ・まちを歩くと、いろいろな整備がされています。例えば、車いすやベビーカーを使っている人は道に段差がないことで移動がしやすかったり、視覚障害者は信号から音が聞こえることで横断歩道の「青」がわかります。
- ・こうした【環境整備】は進んでいるのですが、まだ十分とは言えず、使いにくいと感じている人もいます。しかし環境整備が十分でなくても、学校や会社に通ったり、買い物をしたりなど、まちに出て何かをしたいと思うのは、みんな同じです。もし今ある環境が使えない人がいても、その人のやり方にあわせて違うやり方をすることで、使えるようになるかも知れません。【目的は同じ、やり方が違う】のです。
- ・今の環境整備が使えない時、その人のやり方に合わせて目的を達成しようというのが【合理的配慮の提供】です。
- ・この「合理的配慮」を考える時に、大切なポイントがあります。

point 1 本人からの意思表示

目的が達成できない時、現状の環境整備では使えないことを伝えたり、自分のやり方で対応して欲しいことを伝えます。

point 2 建設的対話

対応する側は、負担が重たすぎない範囲で対応したり、重すぎる負担がある時でも、なぜ負担が重すぎるかの理由を説明し、別のやり方を提案するなど話し合い、目的が達成されたら、

↓

合理的配慮の提供がされたことになります。

2つのポイントが重要です。よく覚えておいてください。

検討事項

説明はわかりやすいか？

寸劇1 (3分)

=====

寸劇1の司会 1人
車いす使用者 1人
店員(高校生) 1人
店員(心の声) 1人
パネル係 1人

=====

司 会 | 寸劇を見ながら考えていきます。ここはドラッグストアです。

パ ネ ル | ここはドラッグストア

お客(車いす) | (店に入ってくる)

店員(高校生) | いらっしゃいませ

お客(車いす) | (少し探している様子) すみません、歯ブラシありますか？

店員(高校生) | 歯ブラシは2階です。

お客(車いす) | エレベーターはありますか？

店員(高校生) | 当店にエレベーターはないのですが。。

お客(車いす) | そうですか。。

店員(心の声) | (車いすの人は、どうやって2階フロアの買い物をすればいいのかな？)

司 会 | 車いすを使っているお客さんが、2階にある商品を買いたいと言っています。

司 会 | みなさんだったらどうしますか？

ここでは次のように会話が進みました。

店員(心の声) | (どうすればいいか、聞いてみよう)

店員(高校生) | どうすればよろしいのでしょうか？

お客(車いす) | 持つところが曲がるタイプの歯ブラシが欲しいのですが、実際に商品を見て確認したいのです。

商品を1階に持ってきてもらうことはできますか？

パ ネ ル | 本人からの意思表示

司 会 | この車いすのお客さんは、2階の商品を1階に持ってきて欲しいそうです。

店員(心の声) | (そうか、1階に持ってくるという対応もあるのか。でも、今レジに並んでいるお客様を対応してからでもいいかな)

店員(高校生) | はい、お持ちできます。が、今、レジに並んでいるお客様を対応してからでもよろしいでしょうか。

お客(車いす) | ええ、いいですよ。では、レジの横で待っています。

パ ネ ル | 建設的対話

司 会 | レジに人が並んでいるので、それに対応してからでもいいかといった対話がありましたね。

店員(高校生) | お待たせしました。5種類お持ちしました。いかがでしょうか。

お客(車いす) | では、これをください。

店員(高校生) | ありがとうございます。

司 会 | 2階にあがらなくても、自分の買いたい商品を選んでもらえて、合理的配慮の提供ができましたね。

検討事項

2階の商品は歯ブラシでいいか？

お客と店員(心の声)の会話はリアルか？

寸劇2 (3分)

=====

寸劇2の司会 1人

視覚障害者 1人

店員(高校生) 1人

店員(心の声) 1人

パネル係 1人

=====

司 会 | 続いて別のお客さんが来ました。

パ ネ ル | ここはドラッグストア

店員(高校生) | (あっ白い杖を持った人だ) いらっしゃいませ。

お客(視 覚) | すみません、シャンプーを買いたいのですが。どこにありますか？

店員(高校生) | 奥の棚にあります。

お客(視 覚) | そこまで案内していただけますか？

司 会 | シャンプーコーナーまで案内して欲しいそうです。

パ ネ ル | 本人からの意思表示

店員(高校生) | あっはい、、、

店員(心の声) | (案内したいけど、どうやるんだろう)

司 会 | みなさんだったらどうしますか？

ここでは次のように会話が進みました。

店員(心の声) | (わからない時は聞いてみよう)

店員(高校生) | どのようにご案内したら良いですか。

お客(視 覚) | 私の半歩前に立ち、肘を持たせてもらえますか。そして、シャンプーコーナーまでゆっくり歩いてください。

パ ネ ル | 建設的対話

店員(高校生) | このような案内で大丈夫ですか？(少し歩いて止まる) ここがシャンプーコーナーです。

お客(視 覚) | 容量の大きいものを教えていただけますか。

店員(高校生) | はい、1リットル入りのボトルがあります。

お客(視 覚) | 手に取らせてもらえますか？

パネル | 本人からの意思表示

店員(心の声) | (おっそうか、渡してあげるといいのか)

店員(高校生) | はい、手の上におきますね(ボトルが手に触れるようにする)

パ ネ ル | 建設的対話

お客(視 覚) | (重さや形を確認) これなら持ち運びできそう、お願いします。

店員(高校生) | ありがとうございます。

司 会 | 好みの商品を確認してもらうことができ、合理的配慮の提供ができましたね。

検討事項

買い物はシャンプーでいいか？

お客と店員(心の声)の会話はリアルか？

合理的配慮クイズ1 (3分)

=====

クイズの司会 1人

パネル係 1人

=====

- ・2つ寸劇をみてもらったところで、合理的配慮クイズをします。

パネル | 合理的配慮クイズ1 | このドラッグストアが車いす対応トイレを整備した。

- ・これは合理的配慮か？合理的配慮だと思う人は、手をあげて声も出してください。
- ・事前に考えて整備するのは「環境整備」です。今、このトイレでは使えない人がいて、その人が納得できる形で目的が達せられるように対応したら、「合理的配慮」が提供されたことになります。

パネル | 合理的配慮クイズ2 | このドラッグストアが携帯スロープを購入した。

- ・これは合理的配慮か？合理的配慮だと思う人は？
- ・これも事前に考えて購入したので「環境整備」です。段差があると入れないお客様がいて、その時に「携帯スロープがあるが、使うかどうか」などの建設的対話が行われた結果、対応した時は「合理的配慮」が提供されたことになります。

パネル | 合理的配慮クイズ3 | このドラッグストアに白杖を持った視覚障害者が来たので、店員が気を利かせて点字のフロアマップを渡した。

- ・これは合理的配慮か？合理的配慮だと思う人は？
- ・これは、本人からの意思表示がないのに渡しているので、合理的配慮ではないと考えます。
- ・「点字のフロアマップがあるが、使うかどうか」を尋ねて、本人の意志を確認するプロセスが大切です。
- ・合理的配慮は一方的な思い込みで「こうすればいい」と思っで行うものではなく、その場にいる人同士が、建設的な会話を重ねて、目的達成を目指すことなのです。
- ・ちなみに、事前に考えた環境整備で目的が達成されれば、使いやすいまちになっていると言えます。合理的配慮は、今ある環境整備では使えない人に提供されるもので、合理的配慮の提供が必要ないまちになっていくことを目指しています。
- ・合理的配慮について少しわかってきましたか？

検討事項

クイズの内容や解説はわかりやすいか？

寸劇3 (14分)

=====

寸劇3の司会 1人
聴覚障害者 1人
店員(外国人) 1人
店員(心の声) 1人
パネル係 1人
グループ回答の記録係 1人

=====

司 会 | 合理的配慮について、理解が深まってきたと思います。
3つ目の寸劇では、建設的対話をどのようにしたらいいか、グループごとに考えてもらいますので、よく見ていてください。
ここもドラッグストアです。

パ ネ ル | ここはドラッグストア

お客(聴覚) | (店に入ってくる)

店員(外国人) | いらっしゃいませ

お客(聴覚) | (探している様子) <手話>花粉用マスクありますか？(声では伝えない)

店員(心の声) | (何を探しているのかな？ わからないな)

店員(外国人) | 何をお探しですか？

お客(聴覚) | <手話>花粉用マスクありますか？(声では伝えない)

店員(外国人) | <ジェスチャーもつけて>マスクですか？(持ってきて渡す)。

お客(聴覚) | <手話>花粉用が欲しいのです(なかなか伝わらない)(声では伝えない)。

司 会 | マスクを探しているようですが、持ってきたマスクではないようです。
もし、あなたがこのドラッグストアの店員さんだとしたら、このような状況でお客様の欲しい商品がわからない時にどうしますか？
グループで3分考えてください。
では、どんな対応策が考えられたでしょうか？
～6グループ分発表、記録(6分)～

司 会 | ここでは次のように会話が進んでいきました。

お客(聴覚) | <手話>筆談できますか？

パ ネ ル | 本人からの意思表示

店員(外国人) | はい、どうぞ。(紙とペンを渡す)

お客(聴覚) | <筆談>〔「花粉用」と書いて渡す〕

店員(心の声) | (漢字は読めないんだ！)

司 会 | この店員さんは漢字が読めないようです。

店員(外国人) | <筆談>「ひらがなで書いてください」

パ ネ ル | 建設的対話

お客(聴覚) | <筆談>「かふん」

店員(外国人) | 「かふん」用マスクですね。はい、こちらです。

お客(聴覚) | <手話>これです、これをください。

司 会 | 筆記用具がない時にはスマホで文字を打ったり、お店だったら商品カタログを見せて指差しするなどの方法もあるかも知れませんね。1つの正解があるわけではなく、その場にいる人同士でよりよい方法を考えることが大切です。

検討事項

3つめの寸劇は、建設的対話をグループごとに考えてもらうようにした。この進め方はどうか？

買い物は花粉用マスクでいいか？

お客と外国人の店員(心の声)の会話はリアルか？

合理的配慮クイズ2 (3分)

=====

クイズの司会 1人

パネル係 1人

=====

- ・2回目の合理的配慮クイズをします。

パネル | 合理的配慮クイズ4 | 信号待ちをしていたら、白杖を持った視覚障害者から誘導して欲しいと求められたので、誘導した。

- ・これは合理的配慮か？合理的配慮だと思う人は、手をあげて声も出してください。
- ・これは「合理的配慮の提供」とは言いません。なぜ？って思いますよね。
- ・これまで見てもらった寸劇は、ドラッグストアでの出来事で、店員さんが対応していました。合理的配慮というのは、「障害者差別解消法」という法律で定められています。

パネル | 合理的配慮の提供は、法律で定められている

- ・法律の中では、役所やお店のような事業者に対して、合理的配慮の提供が義務であると書かれています。個人が行う行為については、義務としては書かれていないのです。

パネル | 合理的配慮の提供は、役所や事業者は義務

- ・クイズ4のシーンは「合理的配慮」と言わないのですが、手伝って欲しいことを伝えて、できることは対応するという、合理的配慮の提供と同じことをしています。
- ・日常の暮らしの中でも、合理的配慮の考えと同じく、困った時には困っていることや手伝ってほしいことを伝えたり、あるいは困っていそうな人を見かけたら声をかけたりして、建設的対話のようなコミュニケーションをとって、お互いにできることをする。これはユニバーサルデザインまちづくりを進める上でとても大切なことです。合理的配慮を理解することで、まちの中でも行動がしやすくなりませんか。
- ・「合理的配慮」と「ユニバーサルデザインまちづくり」はつながっているのです。

検討事項

クイズの内容や解説はわかりやすいか？

寸劇4（2分）

=====

寸劇4の司会 1人

高校生 1人

ベビーカーの人 1人

パネル係 1人

=====

司 会 | 最後に、まちの中でのシーンを見ていただきます。

まちで和菓子屋に入った時、入口に10cmくらいの段差がありました。次に入ってくるベビーカーを押している人が困っているようです。

高 校 生 | (おっ、ベビーカーの人が大変そう)。大丈夫ですか。

ベビーカー | ええ、ちょっと段差が高くて、うまく持ち上げられないのです。

高校生 | なにかお手伝いしますか？

ベビーカー | そうですね、この荷物をちょっと持っていただけますか。

パ ネ ル | 本人からの意思表示

高校生 | はい、お持ちします。もう1つの荷物も持ちますか？

パ ネ ル | 建設的対話

ベビーカー | ありがとうございます。1つ持っていただければ大丈夫です。(ベビーカーを持ち上げる)。助かりました。

司 会 | これは法律で定める合理的配慮ではありませんが、合理的配慮と同じ考え方ですよね。「合理的配慮」と「ユニバサールデザインまちづくり」はつながっていることがわかりましたか。

司会（10分）

=====

全体の司会 1人

=====

- ・では、最後にグループに分かれて、今日の講座の感想を出し合ってください。
- ・時間は10分です。
- ・グループ内にワークショップメンバーも入り交流する。
- ・それでは、UD まちづくり講座を終了します。

検討事項

寸劇の設定や内容はリアルか？

感想や交流時間を他の時間に当てた方がいいか？

(5) グループワークの様子

グループに分かれて、シナリオを修正し、役割分担を決めました。修正内容は、第6回に掲載します。

